

# 最新のエコやエネ技術学ぶ

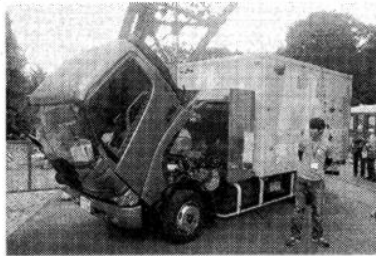
## 「キッズ環境科学博士15」開催

### 貴重な体験 家族連れでにぎわう

自然共生や環境にやさしいエネルギーを学ぶ自然・環境科学教室「キッズ環境科学博士2015」が10月12日、東京・港区芝の東京タワーで行われ、家族連れでにぎわった。

このイベントは小学生や中学生を対象に「最新のエコや次世代エネルギー技術を学べる、体験できる場にしよう」と、研究機関や大学関係者などで組織する実行委員会（委員長・吉村卓三日本作家クラブ会長）が、東京タワーを運営する日本電波塔会社とタイアップし初めて開催した。

メイン会場の地下1階タワーホールでは水素・燃料電池関連の展示と燃



東京都市大学が開発した水素ハイブリッドトラック



燃料電池の燃焼の様子

前会場では、多摩美術大学LRT研究グループによる「太陽光発電&キヤパシタによるミニ電單車」や芝浦工業大学の「エコ燃料&スターリングエンジン発電機の実演」、東京都市大学が開発した水素ハイブリッド(HV)トラックの展示やデモ運転が行われた。このうち水素HVトラックは、水素エンジン搭載バスを開発し、国内初の公道走行を実現。その分析結果などを水素HVトラックの開発に活かした。

このクルマは日野自動車の協力で既存のハイブリッドディーゼルトラックをベースに開発したもので、ハイブリッドシステムを採用することにより低速トルクを向上させ、点火システムの変更により高回転時の出力向上と耐久性の確保を実現した。さらにディーゼルエンジンを搭載するトラックと同等の動力性能を有し、宅配便や資源回収車など幅広い用途に使用可能という。

展示会場ではエンジン部分も公開し、伊東准教授が訪れた人たちにクルマの特徴などについて分かりやすく説明していた。